

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア ミキモトイが最大0.01細胞/ml確認されました。また、アカシオ サンギネアが最大0.01細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.03細胞/ml確認されました。後の2種のプランクトンは基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大0.18細胞/ml確認されました。今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	カレニア ミキモトイ	アカシオ サンギネア	プロロセントラム属	ギムノディニウム カテナータム
片島 (別図⑦) 採水時間 9:31 透明度 9.1 m	3.0	17.9	33.8	6.3	0	0	0	0
藻津① (別図⑨) 採水時間 9:49 透明度 14.0 m	10.0	20.6	34.5	6.3	0	0	0.03	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 9:59 透明度 13.0 m	10.0	20.7	34.5	6.1	0	0.01	0	0.18
真珠 採水時間 10:08 透明度 12.0 m	15.0	20.6	34.5	6.4	0	0	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 10:18 透明度 16.0 m	10.0	20.7	34.5	6.3	0.01	0	0	0